

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

耐ショック・20気圧防水・7年間電池寿命・アラーム(時刻時報・モニター)
1/100秒ストップウォッチ・アラームのつきタイマー

HEAVY-DUTY SPORTS

240

使用説明書

このたびは、カシオデジタルウォッチをお買いあげくださりありがとうございます。この時計は本格的なヘビーデューティーウォッチとして開発されました。電子部品を保護するため、時計の内・外部に新実装技術を施していますので、耐衝撃性、耐振動性、防水性にすぐれています。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いただきますようお願い申し上げます。

時計のお取扱いにあたりましては、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなすためにもご納得のゆくまでお試ください。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

常温携帯精度：平均月差±15秒以内

表示方式：F E型液晶デジタル表示

基本機能：時・分・秒・午前/午後・月・日・曜日、オートカレンダー(2月28日制)

ストップウォッチ機能：計測単位=1/100秒 計測範囲=59分59秒99 (60分計)

計測機能=通常計測・積算計測・ラップ計測・1,2着同時計測
経過時間報知機能=経過時間が10分単位になるごとに電子ブザーが1回鳴ります。

タイマー機能：計測単位=秒 セット単位=分 電子ブザー=30秒間

計測範囲=11時間59分 計測機能=通常計測・積算計測

残り時間報知機能=残り時間が10分単位になるごとに電子ブザーが1回鳴ります。

アラーム機能：時刻アラーム セット単位=分 電子ブザー=30秒間

時報アラーム 毎正時に2回、毎30分に1回電子ブザーが鳴ります。

モニターアラーム

セット機構：時刻・カレンダーセット機構 秒合わせ機構(±30秒クリア)

タイマーセット機構 アラームセット機構

その他の：12時間制/24時間制表示切替機能

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS-LSI

使用電池：BR-2320 (電池別途販売)

電池寿命：約7年(1日当り、ライト1秒間点灯、電子ブザー30秒使用した場合)

◎ご使用上の注意

- 温度 ●直射日光が長くあたり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。
- 遅れ、進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなる場合があります。また、+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
- 耐振動性 ●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には支障ありません。
- 耐衝撃性 ●腕につけたままで激しいスポーツなどででのショックが加わっても時計には支障ありません。(ただし、ガラス部分をぶつけることはお避けください。)
- 磁気 ●磁気の影響はありません。
- お手入れ ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間になまった汚れを部分洗いすることをオススメします。
- 汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。
- 薬品類 ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。
- 保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

◎20気圧防水時計のご使用上の注意

- 水仕事や水泳・水上スキー・スキングイビング・スキューバダイビング(空気ボンベ使用)などで使用できます。(海水に浸したときは、真水で洗い塩分や汚れをよくふきとってください。)
- 水中でのボタン操作はできません。(◎ボタンを除く)
- 防水性能を保つために定期的(2~3年を目安に)なバックイン交換をおすすめします。
- この時計は、電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買いあげの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。(特殊な治具を必要とします。)

◎電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

◎液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けれます。

ストップウォッチの使い方

ボタンを押してストップウォッチ表示にします。

確認 ⇨ STマークの点灯

ストップウォッチは1/100秒の計測単位で59分59秒99まで計測でき、以後0に戻って繰り返し計測されます。
副表示部は時刻(時・分)を表示します。

計測のしかた スタート/ストップボタン(Ⓐボタン)を押すごとに「ビッ」という操作確認音が鳴ります。

通常の計測

- 〈スタート〉 Ⓐボタンを押す……計測開始(コロンが点滅し始めます)
- 〈ストップ〉 Ⓐボタンを押す……計測停止(コロンの点滅が止まります)
- 〈リセット〉 Ⓚボタンを押す……表示が0に戻ります。

ロスタイムがある場合(積算計測のしかた)
ストップ後、リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

ラップタイム(途中経過時間)の計測

- 〈スタート〉 Ⓐボタンを押す……計測開始(コロンが点滅し始めます)
- 〈ラップ計測〉 Ⓚボタンを押す……ラップタイムが表示されます。(LAPが点灯します)

ラップ解除 Ⓚボタンを押す……ラップが解除されます。(LAPは消えます)

ストップ Ⓐボタンを押す……最終タイムが表示されます。(コロンの点滅が止まります)

リセット Ⓚボタンを押す……表示が0に戻ります。

1着・2着のタイム計測

スタート Ⓐボタンを押す……計測開始(コロンが点滅し始めます)

1着がゴール Ⓚボタンを押す……1着のタイムが表示されます。(LAPが点灯します)

2着がゴール Ⓐボタンを押す……表示はそのままです。(コロンの点滅が止まります)

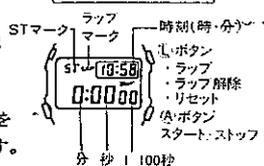
2着のタイムは Ⓚボタンを押す……2着のタイムが表示されます。(LAPは消えます)

リセット Ⓚボタンを押す……表示は0に戻ります。

経過時間報知機能

ストップウォッチ表示で計測中は、経過時間が10分単位(10分、20分、30分……)になるごとに電子ブザーが「ビッ」と鳴ります。

ストップウォッチ表示



アラーム機能の使い方

ボタンを押して、アラーム表示にします。

確認 ⇨ ALマークの点灯

副表示部は時刻(時・分)を表示します。

アラーム機能には以下の2つがあり、両方同時に使えます。

時刻アラーム……任意の時刻をセットできるアラームです。

時報アラーム……毎正時(00分のとき)に2回(ビビッ)、毎30分に1回(ビッ)電子ブザーが鳴ります。

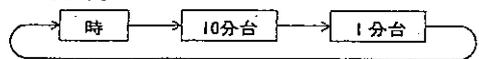
時刻アラーム

時刻アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると30秒間電子ブザーが鳴ります。

★セットのしかた

(1)アラーム表示のとき、Ⓚボタンを押すと「時」が点滅します。

(2)Ⓚボタンを押すごとに、点滅個所が以下の順で移動します。



(3)「時刻・カレンダーの合わせ方」と同様、点滅個所がセット可能ですので、Ⓚボタンでセット個所を選び、Ⓚボタンでセットを行ないます。

※Ⓚボタンを押すごとに、表示の数字が進みます。

(4)セットが終わったら、点滅がどの個所でもⓀボタンを押すと点滅が止まり、アラームマークが点灯して、セット完了です。

—— セット上のご注意 ——

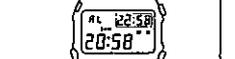
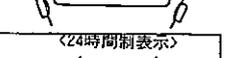
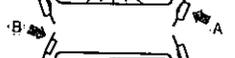
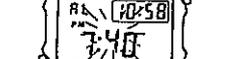
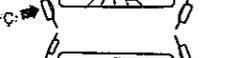
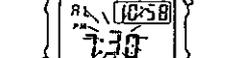
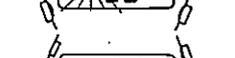
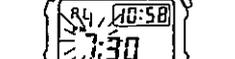
●「時」のセットのとき、午前・午後の指定にご注意ください。
●時刻・カレンダー表示が24時間制表示のときはアラーム時刻表示も24時間制表示になります。

アラーム表示



- アラームのみ鳴る
- 時報のみ鳴る
- 時報・アラームともに鳴る

24時間制表示



減算タイマーの使い方

ボタンを押してタイマー表示にします。

確認 ⇨ TRマークの点灯

減算タイマーは分単位で最大11時間59分までセットでき、セット時間が経過すると30秒間電子ブザーが鳴ります。

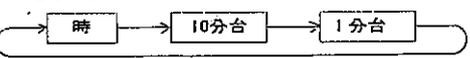
副表示部は時刻(時・分)を表示します。

★セットのしかた

(1)タイマー表示のとき、Ⓚボタンを押すと「時」が点滅します。

※表示は前にセットした時間(リビート表示)になります。

(2)Ⓚボタンを押すごとに、点滅個所が以下の順で移動します。



(3)「時刻・カレンダーの合わせ方」と同様、点滅個所がセット可能ですので、Ⓚボタンでセット個所を選び、Ⓚボタンでセットを行ないます。

※Ⓚボタンを押すごとに表示の数字が進みます。

(4)セットが終わったら、点滅がどの個所でもⓀボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

(5)Ⓚボタンを押すと減算を開始し、残り時間を秒単位で表示します。

※Ⓚボタンを押すごとに「ビッ」という操作確認音が鳴ります。

ロスタイムがある場合

減算計測中、Ⓐボタンはスタート/ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。サッカーなどロスタイムのある試合時間の計測に便利です。

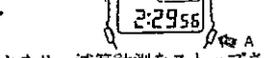
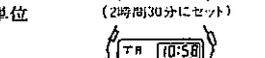
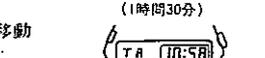
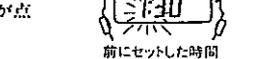
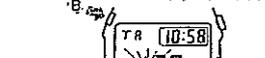
同じ時間を計測する場合(リビート計測)

同じ時間を何回も計測するとき、計測の途中で最初からやり直すときなどは、Ⓚボタンを2度押すと前にセットした時間を表示します。この操作で、何回でも同一の減算計測が可能です。

※減算計測停止時に、Ⓚボタンを押しても同様です。

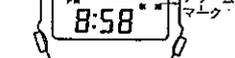
残り時間報知機能

減算タイマー表示で計測中は、残り時間が10分単位(……30分、20分、10分)になるごとに電子ブザーが「ビッ」と鳴ります。



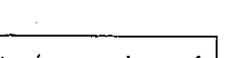
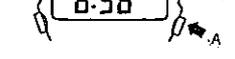
★アラームの解除

アラーム表示のとき、ⓀボタンはアラームのON/OFFボタンになります。Ⓚボタンを押すごとにアラームマークが点灯したり、消えたりします。アラームを鳴らさないときは、アラームマークを消します。



時報アラーム

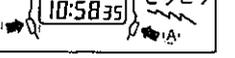
アラーム表示のとき、Ⓐボタンは時報のON/OFFボタンになります。Ⓐボタンを押すごとに時報マークが点灯したり、消えたりします。時報を鳴らさないときは、時報マークを消します。



時報ONのとき、毎正時(00分のとき)に2回(ビビッ)、毎30分に1回(ビッ)電子ブザーが鳴ります。

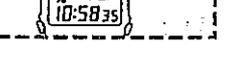
—— モニターアラーム(いつでもブザーが鳴ります)。 ——

どの表示のときでも、ⓀボタンとⓀボタンを同時に押すと、押し続けている間、電子ブザーが鳴ります。



鳴っている電子ブザーを途中で止めるには

減算タイマー、時刻アラームとも30秒間電子ブザーが鳴ります。途中で止めたいときは、どの表示のときでもⓀボタンを押します。



ストップウォッチ計測中、または減算タイマー計測中にⓀボタンを押して、時刻・カレンダー表示など他の表示にしても計測には一切影響ありません。但し、ラップ計測時(LAPが点灯)にこの操作をしますと、ラップは解除(LAPが消える)されます。

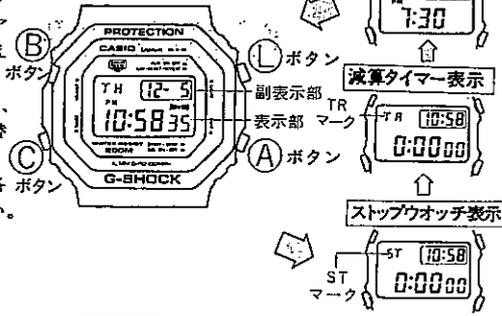
操作のしくみと表示の見方

この時計は、時刻・カレンダー機能のほかに1/100秒ストップウォッチ、減算タイマー、アラームの各機能を備えています。

③ボタンを押すごとに、①の順で表示が切り替わります。

③ボタンを押して、各ボタン表示をご確認ください。

時刻・カレンダー表示



時刻・カレンダー表示の見方、使い方

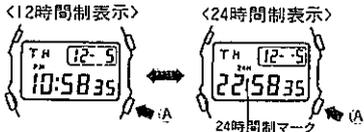
時刻・カレンダー表示では、時・分・秒・午前/午後・月・日・曜日が一括表示されています。

①ボタンを押している間、ライトがつきます。

※カレンダーはオートカレンダーですので、うるう年以外は修正不要です。

★12 → 24時間制切替

③ボタンを押すごとに、12時間制表示と24時間制表示(24Hマーク点灯)とが入れ替わります。



秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらい、この「秒合わせ」をしていたら、時計はいつも正確です。

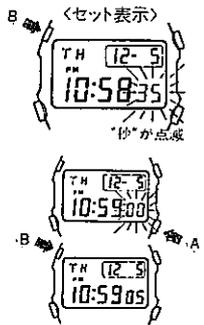
(1)時刻・カレンダー表示のとき、③ボタンを押して「セット表示」にします。

(2)時報に合わせて、④ボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00-29のときは切捨てられ、30-59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

(3)③ボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻します。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法でセットしてください。

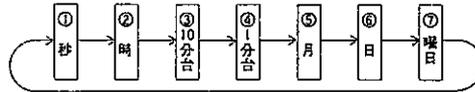
(1)時刻・カレンダー表示のとき、③ボタンを押して「セット表示」にします。

確認 ⇨ 「秒」が点滅していますか？

(2)③ボタンを押します。

確認 ⇨ 点滅する個所が移動しましたか？

※セット表示のとき、③ボタンを押すごとに、点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、③ボタンでセットしたい個所を選びます。



(3)(セットしたい個所が点滅しているとき)④ボタンを押します。

確認 ⇨ 点滅している表示が1つ進みましたか？

※セット表示のとき、④ボタンを押すごとに、表示が1つずつ進みます。

④「秒」のときは表示が00になります。⇨「秒の合わせ方」参照。

③ボタンでセットしたい個所を選び、④ボタンで表示をセットし、時刻、カレンダーを合わせてください。

注1)「時」のセットのとき、午前/午後、24時間制にご注意ください。

注2) 24時間制のときも、同じ方法でセットできます。

(4)セットが終わったら、(どの個所が点滅していても)

③ボタンを押します。時刻・カレンダー表示に戻りセット完了です。

確認 ⇨ 点滅が止まりましたか？

■セット例、「時」と「曜日」をセットする。

① ③ボタンを押して、セット表示にする。

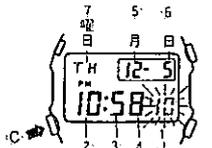
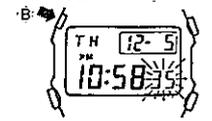
② ③ボタンを押して、「時」を点滅させる。

③ ④ボタンを押して、「時」をセットする。

④ ③ボタンを押して、「曜日」を点滅させる。

⑤ ④ボタンを押して、「曜日」をセットする。

⑥ ③ボタンを押して、セット完了。(時刻・カレンダー表示に戻ります。)



※番号の順に移動します。

